



2022年12月12日

各位

会社名 株式会社シャノン
 代表者名 代表取締役社長 中村 健一郎
 (コード: 3976 東証グロース)
 問合せ先 取締役 経営管理担当 友清 学
 (TEL. 03-6743-1551)

繰延税金資産の取り崩し及び

2022年10月期通期連結業績予想値、個別業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年10月期(2021年11月1日～2022年10月31日)において、下記のとおり繰延税金資産の取り崩しを行いましたので、お知らせいたします。また、2022年9月12日に公表いたしました2022年10月期(2021年11月1日～2022年10月31日)における通期連結業績予想値、個別業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

1. 繰延税金資産の取り崩しについて

当社を取り巻く環境及び今後の業績の見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2022年10月期決算において、繰延税金資産の一部を取り崩し(38百万円)、法人税等調整額に計上いたしました。本会計処理は実質的な支出を伴わず、当社のキャッシュ・フローに影響を及ぼすものではありません。

2. 連結業績予想について

(1) 2022年10月期(2021年11月1日～2022年10月31日)の連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,480	百万円 △256	百万円 △247	百万円 △248	円 銭 △84.56
実績値(B)	2,456	△327	△325	△365	△124.76
増減額(B-A)	△23	△71	△78	△117	—
増減率(%)	△1.0	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2021年10月期)	2,196	11	52	107	36.83

(2) 差異の理由

①売上高の差異について

売上高については、サブスクリプション事業、イベントクラウド事業、メタバース事業、広告事業のすべてにおいて前回予想を若干下回ってはいるものの概ね予想通りに推移し、2,456百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

②営業利益の差異について

(売上原価)

売上原価についても、概ね前回予想通りに推移し、864 百万円（前年同期比 4.3%増）となりました。

（販売費及び一般管理費）

販売費及び一般管理費については、2023 年 10 月期に向けたマーケティング活動（展示会への出展）を追加で行ったことや採用活動、外注費の増加を要因として、前回予想時の 1,871 百万円に対して 49 百万円増加し、1,919 百万円（前年同期比 41.6%増）となりました。

以上の結果、営業利益は、前回予想よりも 71 百万円減少し、327 百万円の営業損失（前年同期は営業利益 11 百万円）となりました。

③経常利益の差異について

経常利益については、営業利益の差異の影響により、前回予想の 247 百万円の経常損失に対して 78 百万円減少し、325 百万円の経常損失（前年同期は経常利益 52 百万円）となりました。

④親会社株主に帰属する当期純利益の差異について

経常利益が減少とそれに伴う法人税等の減少及び「1. 繰延税金資産の取り崩しについて」に記載の繰延税金資産の取り崩しに伴う法人税等調整額 38 百万円の計上により、前回予想の 248 百万円の親会社株主に帰属する当期純損失に対して、117 百万円減少し、365 百万円の親会社株主に帰属する当期純損失（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益 107 百万円）となりました。

3. 個別業績予想について

(1) 2022年10月期(2022年11月1日~2022年10月31日)の個別業績予想と実績の差異

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,400	百万円 △150	百万円 △181	円 銭 △61.68
実績値(B)	2,382	△232	△292	△99.77
増減額(B-A)	△17	△82	△111	—
増減率(%)	△0.7%	—	—	—
(参考)前期実績 (2021年10月期)	2,206	87	141	48.25

(2) 差異の理由

今回の修正としましては、基本的には、連結業績予想の修正と同様の理由により、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに予想値を下回ることとなりました。

以 上